

ぬくいと® WOOL

天然系 あったか素材

もっと、ホット + プラス

「コットン」+「レーヨン」+「ウール」3種類の原料をブレンド。
天然系で、柔らかくあたたかい風合いの素材です。

発熱性

体や環境の湿気・水分を吸収することで、素材が暖かくなります。

保湿性

水分を保つ性質が高いため、素材にうるおい感があります。

保温性

ウールをミックスすることで、繊維間に出来た空気層が保温効果を生み出します。

やわらかさ

原料の特性を生かした、ふんわりやわらかい風合い。

もっと、ホット + プラス

4つの機能

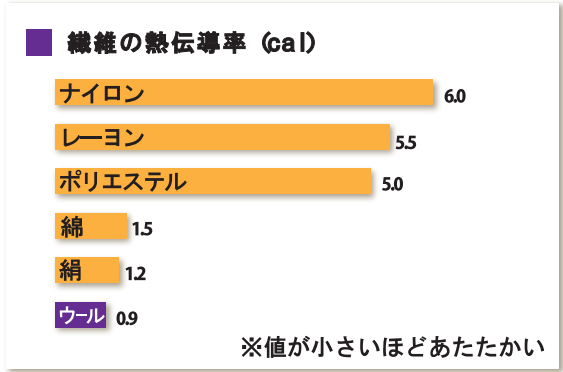


ICHIBO

ぬくと[®]WOOL

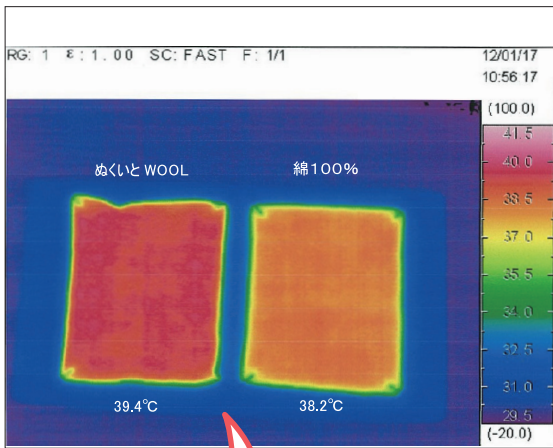
天然繊維の[👑]主様・WOOL

ウールが暖かいのは織物やニットの構造はもちろん、糸そのものの中にたくさんの空気を含んでいるからです。空気の熱伝導率が大変低いために、繊維組織内にある空気が外部の冷たい空気を遮断してくれるわけですが、ウールに含まれる空気の量は60%にも達すると言われています。



発熱性

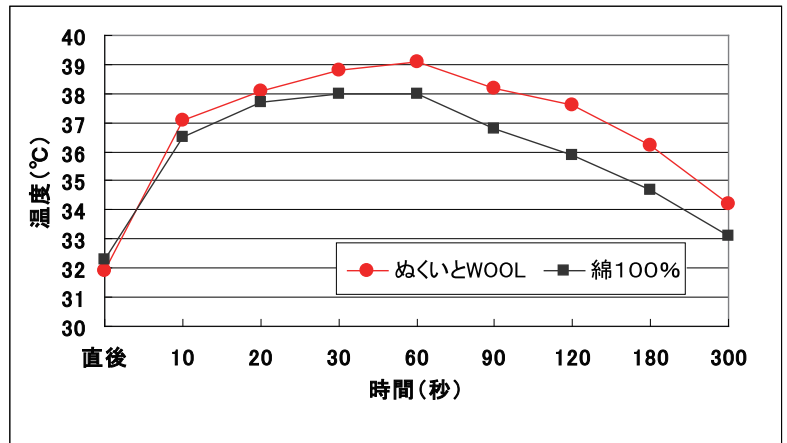
49秒後のサーモグラフィー画像



1.2°Cの差になる

<試験方法>
試料を絶乾状態に調整した後、(30°C×90%RH)の環境下に放置したときの温度変化を測定。

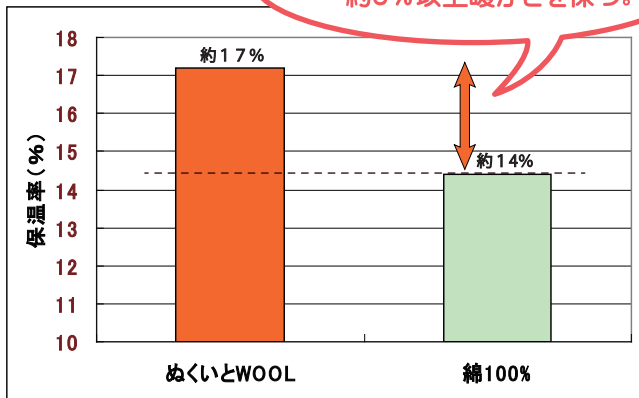
発熱性比較



綿100%より1°C以上暖かい状態が続く

保温性

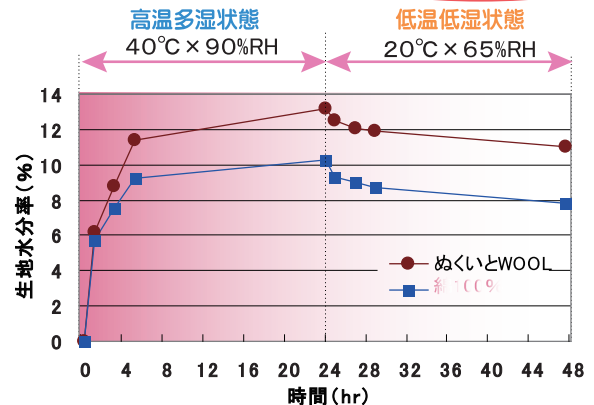
ぬくとWOOLは、綿100%より約3%以上暖かさを保つ。



<試験方法> サーマロポ法
●試験機: サーマロポII型試験機

保湿性

乾燥状態でも、多湿状態でも、綿より水分率が高いまま



<試験方法>
試料を絶乾状態に調整した後、高温多湿状態 (40°C×90%RH) に24時間放置。その後、低温低湿状態 (20°C×65%RH) へ移し、更に24時間放置したときの生地水分率の変化を測定。

※ 評価生地: ぬくとWOOL 40s フライス
標記のデータは、特定の生地による評価結果です。組織やカラーによって結果は異なります。保証値ではございません。